広報 滋賀 県身協

平成28年1月1日

111

12月3日～9日は障害者週間です

新年のご挨拶…… 2
第65回滋賀県身体障害者福祉大会 …… 3～4
要望活動、第35回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック福祉大会・第17回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック身体障害者相談員研修会
青壮年部地域交流会、地域文化・スポーツ交流促進事業…… 5
わが地域の「がんばり日記」等…… 6
各種お知らせ等…… 7
障害者福祉センターコーナー…… 8～11
クイズコーナー・編集後記 …… 12

滋賀県立障害者福祉センターのご案内

ご利用時間　午前9時30分～正午・午後1時～ 4時30分・午後5時30分～ 8時30分
休　所　日　月曜日（休日を除く）・「休日」の翌日（土曜日・日曜日または「休日」である場合を除く）・12月29日～翌年1月3日・管理者の指定日時
電話 077-564-7327　　FAX 077-564-7641
E-mail:webmaster@shiga-fukushi-center.com
http://www.shiga-fukushi-center.com/

第65回 滋賀県身体障害者福祉大会　　平成27年11月8日（日）　あいこうか市民ホール

新年あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

新年のごあいさつ

公益財団法人　滋賀県身体障害者福祉協会
会　長　　中　村　　裕　次

新年あけましておめでとうございます。

新年を迎え、滋賀県身体障害者福祉協会に多大なご理解とご協力をいただいております関係者の皆様方に、心より新春のお慶びを申し上げます。昨年も皆様のご協力のもと、大変多くの事業をつつがなく終えることができました。また、滋賀県立障害者福祉センターの経営につきましても、着実に取り組みを進め、新たに平成28年4月から始まる5ヵ年の期間について、当協会が引き続き指定管理者として指定されることとなりました。これも偏に会員の皆様方をはじめ、多くの関係者の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、国においては、障害者差別解消法が本年4月に施行されるに伴い、対応要領や対応指針が制定され、滋賀県においても国の対応要領を踏まえ、策定が進められております。また、障害者に対する施策については、「滋賀県障害者プラン」により県政の各般に渡り推し進められているところです。

当協会といたしましては、当事者団体として、県民への障害者差別解消法の周知啓発が図られるよう働きかけるとともに、自らも周知啓発に努め、障害者に対する理解がより一層深められるよう、また、当事者の意見が施策や制度に反映されるよう取り組んでまいります。

また、地域等における高齢化や会員の減少は喫緊の課題であり、各地域の組織活性化に向け、新規会員の加入促進が図られるよう取り組みを支援してまいります。併せて、協会の中核的組織である青壮年部活動や社会参加推進支援活動の一層の推進を図り、障害者福祉の理解と関心を深め、公益財団法人として、不特定多数の障害者の方々の利益の増進に寄与できるよう活動を強くアピールしながら推進していく所存です。障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生社会の実現に向けて、地域の皆様とともに積極的に取り組んで参りたいと存じますので、一層のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとって幸多い年となりますとともに、皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈りいたしまして、私の新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

滋　賀　県　知　事　　　三　日　月　　大　造

明けましておめでとうございます。
皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、平成36年に滋賀県で開催予定の全国障害者スポーツ大会に向けて、国体と一体となった開催準備委員会を7月に組織するとともに、10月には第15回全国障害者スポーツ大会(紀の国わかやま大会)において、滋賀県選手団が過去最高の45個のメダルを獲得するなど、本県の障害者スポーツにとって大きな前進のあった一年でありました。

また、県では、昨年3月に障害者施策を総合的に推進する道しるべとして、「みんなでいっしょに働き、みんなとまちで生きる」を基本理念とした、新たな「滋賀県障害者プラン」を策定しました。

このプランをもとに、障害のある人もない人もお互いに尊重し、理解し、助け合う中で、すべての人がその有する力を最大限に発揮することで、生き生きと活躍し、居場所と出番を実感できる共生社会の実現に向けて取り組んでいるところです。

本県には、福祉の分野で国に先駆けた施策を展開し、全国をリードしてきた歴史があります。自分だけ、今だけ、ものだけの豊かさではなく、一人ひとりが心で「新しい豊かさ」を実感できるよう、あらためて滋賀から「新しい福祉」を創り出していきたいと考えております。

本年4月から障害者差別解消法が施行されます。県といたしましても、皆さんの願いや思いを大切に、一人ひとりがそれぞれの「豊かさ」を実感できる滋賀県をめざし、精一杯取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって、伸びゆく、幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げます。

第65回 滋賀県身体障害者福祉大会

11月8日(日)にあいこうか市民ホールにおいて、多数のご来賓をはじめ、県内各地から約700人もの多くの方々にご参加いただき、「第65回滋賀県身体障害者福祉大会」を盛大に開催することができました。

式典においては、滋賀県知事表彰を10人の方が、滋賀県身体障害者福祉協会会長表彰を31人の方が受賞され、甲賀市の神山俊一氏が受賞者を代表して感謝のことばを述べられました。また、議事は、障害者が一致団結し、主要な法制度や施策の充実を提言していくとする大会宣言と施策の充実に向けた8項目の大会決議が多くの方にご賛同いただき、次頁のとおり採択されました。

来年度の「第66回滋賀県身体障害者福祉大会」は、高島市において、高島・大津の2地域の協力のもと開催されます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

湊愛子・高橋周子
愛と平和のコンサート

「笛を吹くおしゃべりな歌手」として演奏活動の他に歌、篠笛、オカリナの指導をされている湊愛子氏と音楽サロンを主宰するなど指導活動の他、作曲も手がけられている高橋周子氏を招き、「湊愛子・高橋周子 愛と平和のコンサート」と題してコンサート＆トークショーを開催しました。

参加者は、「ふるさと」や「コンドルは飛んでいく」等の懐かしい音楽に耳を傾けながら、湊氏の楽しいトークと美しい歌声に、また、高橋氏の奏でるエレピアンの音楽演奏を楽しまれていました。コンサート終盤には「四季の歌」や「赤とんぼ」、「琵琶湖周航の歌」等の誰もが耳にしたことがある曲を参加者全員で歌い、楽しい雰囲気の中で、コンサートの幕が降りました。

平成27年度 滋賀県知事表彰・被表彰者

更生援護功労者

市町名	氏名	市町名	氏名
大津市	中村 なほみ	甲賀市	村木 洋次郎
彦根市	田中 武	東近江市	夏原 稔
草津市	飯田 章	豊郷町	西山 正藏
甲賀市	神山 俊一		

自立更生者

市町名	氏名	市町名	氏名
大津市	北村 茂	野洲市	髙野 正子
栗東市	川嵜 千頼		

平成27年度 公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会 会長表彰・被表彰者

更生援護功労者

市町名	氏名	市町名	氏名
彦根市	谷澤 恒夫	湖南市	高畠 信也
彦根市	岩﨑 美紗子	湖南市	武村 敏彦
長浜市	不破 十代二	甲賀市	木村 とき江
長浜市	中尾 廣司	甲賀市	谷口 昌男
長浜市	角川 和子	甲賀市	冨山 幸治
長浜市	四塚 康則	東近江市	三輪 章三
長浜市	橋本 泰典	高島市	金谷 照夫
近江八幡市	渡辺 文子	高島市	川越 正雄
草津市	竹村 勇	高島市	奥野 タマ
守山市	服部 邦子	愛荘町	小林 信征
湖南市	井田 裕司		

自立更生者

市町名	氏名	市町名	氏名
大津市	柴﨑 信雄	甲賀市	安井 胤嗣
彦根市	植西 香代子	東近江市	島川 健一
長浜市	原田 喜三郎	高島市	清水 春代
甲賀市	雲 歳恵	高島市	井上 毅
甲賀市	大槻 喜仕子	日野町	木田 一夫

第65回 滋賀県身体障害者福祉大会　大会スローガン

- 障害者差別解消法の施行に向けて、県民の理解・啓発が図られるよう働きかけよう
- 全市町において、避難行動要支援者の個別支援計画が早期に完成され、避難支援対策が整備されるよう働きかけよう
- ユニバーサルデザインのまちづくりを目指し、関係機関等と連携を図られ着実に取り組まれるよう働きかけよう
- 法定雇用率の達成と就労支援の充実により、障害者が安心して働ける環境が確保されるよう働きかけよう

第65回 滋賀県身体障害者福祉大会宣言

国においては、一連の障害者制度改革最後の法整備として制定された障害者差別解消法の平成28年4月の施行に向けて、基本方針の制定や体制の整備が進められるとともに、障害者総合支援法制定から3年目を迎えるにあたり、見直しのための議論が進められている。また、県においては、新たに「滋賀県障害者プラン」が策定され、すべての人が生き生きと活躍できるような共生社会の実現をめざし、障害者に対する各分野にわたる取り組みが推進されようとしている。

このような時に、県内から多くの障害者の参加のもと「第65回滋賀県身体障害者福祉大会」を開催し、障害当事者の思いと願いを結集しアピールすることは大変意義深く、この大会を一つの契機として、障害者差別解消法が県民の一層の理解が深められるよう、啓発活動に自らも取り組むとともに、障害者が一致団結し、主要な法制度や施策の充実を提言するなど重要な活動を推進しなければならない。

本大会に参加した私達は、障害者の自立と社会参加を一層推進するため、実践に努めていくことを誓い、ここに宣言する。

平成27年11月8日

公益財団法人　滋賀県身体障害者福祉協会
第　６　５　回　滋賀県身体障害者福祉大会

第65回 滋賀県身体障害者福祉大会決議

1. 障害者差別解消法施行に際しては、県民や事業者等に理解が深められるよう積極的な周知啓発に努められたい。また、法の目的を補完し実効あるものとするため、差別の定義や相談・紛争防止や救済機関の体制等の重要事項について定めた県条例を制定して推進されるよう要望する。
2. 65歳以上の障害者の福祉サービスの利用については、国からの通知に基づき、一律に介護保険サービスを優先的に適用することなく、利用する障害者の状況に応じて市町で適切に判断することとなっている。各市町において適正な支給決定がされるよう、市町への通知内容の履行の徹底と関係者に対する適切な周知を要望する。
3. 災害対策基本法に基づき、各市町において、障害者団体や障害者相談員を避難支援等関係者に含め、連携して、避難行動要支援者の個別支援計画を早急に完成されるとともに、日頃から障害者相談員等に対する避難行動要支援者名簿の情報提供により、実効性のある避難支援が行われるよう要望する。また、一次避難所のバリアフリー化が図られるよう要望する。
4. ユニバーサルデザインのまちづくり実現のため、福祉滋賀のまちづくり条例やバリアフリー法の目標に基づき、関連する制度や関係機関等との整合・連携を図り、公共交通機関、道路、公共施設において整備を推進されるよう要望する。
5. 難病の患者に対する医療等に関する法律に定める指定難病でありながら、重症度分類等により特定医療費の対象とならない場合の措置や市町村民税非課税世帯の場合の福祉医療制度の活用など自己負担軽減を図られるよう要望する。
6. 聴覚障害者や視覚障害者等に対する、外出・移動を支援する同行援護・移動支援事業や意思疎通を支援する意思疎通支援事業の給付の決定については、利用時間等の地域間格差なく、公平にサービスを受けられるよう要望する。
7. 障害者の法定雇用率が達成されるとともに、雇用と福祉の施策の連携による一般就労への移行促進や職業訓練の充実により、就職率の向上を図られたい。また、雇用分野における障害者差別の禁止や合理的配慮の提供義務を定めた改正障害者雇用促進法の施行に伴い、障害者が差別を受けることなく継続的に安心して働くことができるよう、事業主に対する周知徹底を要望する。
8. 障害のあるなしに関わらず人格と個性を尊重しあい共生する社会の実現に向け、重要となる学校教育の中で、障害者差別解消法の周知とともに障害に対する理解を深める教育がより一層充実強化されるよう要望する。

平成27年11月8日

公益財団法人　滋賀県身体障害者福祉協会
第　６　５　回　滋賀県身体障害者福祉大会

障害者施策に関する要望活動について

報告

当協会は公益財団法人として、共生社会の実現に向けて、不特定多数の障害者の利益の増進に寄与するよう、障害者の更生福祉の増進と社会参加の促進を図るための種々の事業を、障害者団体や地域の方々とともに力を合わせて取り組んでいるところですが、現在の社会経済情勢下にあって、まだまだ障害者の暮らしは厳しく、障害者施策の一層の充実と支援が求められています。

去る11月8日(日)にあいこうか市民ホールにおいて「第65回滋賀県身体障害者福祉大会」を開催し、多くの障害者の参加のもと決議された8項目の要望事項について、当協会として、11月20日(金)、25日(水)、12月18日(金)に、知事および県議会、関係部局に対して要望活動を行いました。

第35回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック福祉大会
第17回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック身体障害者相談員研修会

報告

10月21日(水)神戸市勤労会館において、第35回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック福祉大会および第17回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック身体障害者相談員研修会が開催され、本県から35人が参加しました。

午前の福祉大会では、障害者権利条約の規定を反映した高い水準での障害者施策が推進されることや、障害者差別解消法の施行に際して、国の責務で広く社会に浸透が図られるように同法の周知と相談・紛争防止等の体制の整備の充実に最大限の努力をされること、また、障害者相談員にかかる身分等法制度の充実強化を図られること等の11項目の大会決議が採択されました。

午後からは、厚生労働省相談支援専門官の鈴木智敦氏による「障害者差別解消法に基づく対応要領・対応指針にかかる障害者相談員活動について」という演題で講演が行われ、計画相談支援の実施状況や障害者差別解消法に基づく対応指針、合理的配慮等について説明していただきました。来年度は京都市での開催となります。

青壮年部地域交流会

10月10日(土)に湖東コミュニティセンターにおいて「青壮年部地域交流会」を開催し、東近江市と日野町から関係者を含めて47人の参加がありました。

参加者全員が自己紹介をしたあと、「青壮年部のチャレンジ！！」と題して、青壮年部の活動内容やチャレンジしてきたこと等について紹介しました。参加者からは、「地域での交流会等を今後も継続して欲しい」等の意見がありました。

また、「ディスコン」と「スポーツ吹矢」のニュースポーツ体験を行い、互いに協力し合い、時には歓声が上がる等、楽しく有意義な地域交流会となりました。

参加者の声
- 皆が集まって楽しい時間が過ごせてよかった。
- 今後も頑張ってください。応援してます。

地域文化・スポーツ交流促進事業

9月6日(日)に平成２７年度地域文化・スポーツ交流促進事業を開催しました。高島市、甲賀市、彦根市の各市身体障害者更生会が交流し、障害者福祉活動をお互いに理解・共有し、それぞれの更生会活動の一層の推進とともに、自立と社会参加の促進を図ることを目的に開催し、59人が参加し、親睦を深めました。

開会のあいさつ、参加者および三市更生会の活動紹介のあと、それぞれが抱えている会員の減少や運営等の問題について意見交換を行いました。

昼食後は、「ディスコン」と「スローイングビンゴ」の軽スポーツ体験を行うことで、三市の枠を越えた交流を図ることができ、盛会のうちに終えることができました。

参加者の声
- 会員同士の交流ができて良かった。
- それぞれの活動内容や課題等について話ができて良かった。

わが地域の「がんばり日記」

近江八幡市身体障害者厚生会研修旅行だより

近江八幡市身体障害者厚生会

９月16日(水)楽しみにしていた本年度の会員研修旅行には、67人が参加し、観光バス二台で行きました。午前８時に近江八幡市役所前を出発し、名神高速道路・阪神高速道路を走り、最初に、西宮市の酒造会社を訪れ、お酒作りのビデオやレプリカの鑑賞後、各自が試飲・おみやげ等を購入し、会員からは笑顔がこぼれました。

その後、六甲山ドライブウェイを縦走しましたが、残念ながら天候に恵まれず、雲上の景色となってしまいました。昼食は山頂のレストランにて、90分食べ放題のジンギスカンで鳥肉や牛肉を楽しみながら会員同士の交流を深めることができました。

昼食後は、３月にグランドオープンした三田市のめんたいパークを訪れ、明太子が出来るまでの案内を聴きながら工場見学をし、新しく明るい食品工場だと感じました。

今後も会員の皆さんに満足していただけるような研修旅行を計画していきたいと思います。

平成27年度　バス研修旅行　～秋～

長浜市身体障害者福祉協会

本年度２回目の研修は、私達滋賀県民にとっての「母なる琵琶湖」の恵みを肌で感じつつ、交流を深めようとの思いから、観光船ミシガンでの琵琶湖周遊と、歴史ある琵琶湖ホテルでの昼食交歓会を計画しました。

これまでのような各地の施設を訪問し、研修するという内容から、滋賀県民の心の柱ともいうべき「琵琶湖」を湖上から楽しもう、母なる琵琶湖から故郷を見つめてみようと呼びかけた研修です。

心配していた天気は期待以上の好天気で、船上研修は、琵琶湖の恵み、滋賀の自然の素晴らしさ、その中で生きる喜びを改めて実感できる最高の研修となりました。２時間の船旅を終え下船する参加者の晴れやかで大満足の表情が、今回の研修の成果を雄弁に語ってるようでした。

昼食交歓会は、バリアフリーについても十分な配慮がされている琵琶湖ホテルで行いました。料金もリーズナブルで、また期待していた以上の数のスタッフの方々の、あたたかい接遇もあり、これまた船上研修にも勝るとも劣らず、充実した交歓会となりました。

今回の研修旅行は、わざわざ他府県にまで行かなくても、滋賀県にも、いや滋賀県だからこそ私達が感動できる研修が出来るのだということが発見できたという意味でも、大きな成果のある研修となりました。

平成28年1月から滋賀県の身体障害者認定基準が一部変更になります。

新たな認定基準が適用されるもの

平成28年１月１日以降に市町障害福祉主管課で受理された肢体不自由の申請者

※平成27年12月31日までに市町障害福祉管課で受理され、平成28年１月１日以降に手帳が交付された方は従来の認定基準が適用されます。

主な変更内容

下肢や体幹などの障害について、義肢・装具等を装着しない状態で判断します。

※申請いただいた方全員が程度の変更ができるとは限りません。総合的に判断して等級決定を行います。

申込方法

身体障害者診断書・意見書(肢体不自由障害用)平成28年１月版を身体障害者福祉法第15条の規定に基づく指定医師が記入し、各市町障害者福祉主管課の窓口へ申請してください。

下肢や体幹の手帳をすでに所持されている方

詳細は下記ホームページでお確かめください。

http://www.pref.shiga.lg.jp/e/shogai/shinsyoutetyou/ninteikijyun.html

滋賀県　身体障害者認定基準　検索

問合せ先

県障害福祉課（大津市以外の方）　TEL:077-528-3543　FAX:077-528-4853

大津市障害福祉課　TEL:077-528-2745　FAX:077-524-0086

12月３日(木)、厚生労働省で行われた障害者自立更生等厚生労働大臣表彰式典において、当協会前副会長の乾澤正和様(大津市)が、長年にわたる活動を認められ、更生援護功労者に対する厚生労働大臣賞を受賞されました。また、滋賀県視覚障害者福祉協会会長で当協会理事の大橋博様が身体障害者等社会参加促進功労者を受賞されましたのでご報告させていただきますとともに心からお祝い申し上げます。

「東日本大震災」義援金について

東日本大震災義援金として、当センターで開催しました「第25回記念夏まつり」および受付「義援金箱」で皆様にご協力いただきました義援金を次のとおり送金させていただきました。

ご協力いただいた皆様にお礼申し上げますとともに、ご報告させていただきます。

●送金先：公益財団法人 福島県身体障がい者福祉協会
●義援金：８８，４２７円

各地域・団体の活動報告

月　日	主　催	行事内容
10月 4日(日)	第65回近畿ろうあ者大会実行委員会 一般社団法人滋賀県ろうあ協会	第65回近畿ろうあ者大会
10月11日(日)	公益社団法人 滋賀県手をつなぐ育成会	第54回近畿知的障がい者福祉大会 (第50回滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会)
10月18日(日)	社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会	社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会創立20周年記念行事
	大津市身体障害者更生会	第43回大津市身体障害者更生会運動会
11月15日(日)	滋賀県中途失聴難聴者協会	難聴者教室 聞こえにくい・聞こえない障害を持つ人のコミュニケーションを考える
11月20日(金)	特定非営利活動法人 滋賀県脳卒中者友の会淡海の会	脳卒中リハビリテーション医療等相談会2015
11月22日(日)	湖南市身体障害者更生会	第1回こなん交流いきいき風船バレーボール大会
11月27日(金)	社会福祉法人 滋賀県視覚障害者福祉協会	第1回90周年記念福祉大会 実行委員会
12月 6日(日)	東近江市身体障害者厚生会	東近江市市制10周年記念協賛事業 東近江市身体障がい者ふれあいのつどい

事務局日誌

平成27年10月～12月

月　日	会議・行事内容
10月 1日(木)	第２回滋賀県障害者社会参加推進協議会
10月 8日(木)	第３回滋賀県身体障害者福祉大会実行委員会
10月10日(土)	青壮年部地域交流会(東近江市・日野町・竜王町)
10月17日(土)	第５回青壮年部役員会
10月21日(水)	第35回日身連近畿ブロック福祉大会 第17回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会
10月30日(金)	第２回滋賀県健康医療福祉部指定管理者選定委員会におけるプレゼンテーション
11月 7日(土)	障害者週間啓発活動(長浜)
11月 8日(日)	第65回滋賀県身体障害者福祉大会
11月11日(水)	第26回夏まつり企画検討部会
11月20日(金)	福祉大会決議要望(県議会)
	第11回三役会
	組織活動強化事業審査会
11月25日(水)	福祉大会決議要望(県議会)
11月27日(金)	障害者週間啓発活動(近江八幡・草津・高島・甲賀・東近江)
11月28日(土)	障害者週間啓発活動(大津・甲賀・米原・日野)
11月29日(日)	障害者週間啓発活動(彦根・守山・栗東・湖南)
	障害者週間啓発イベント(障害者スポーツ・レクリエーション体験、作品展示)
12月 3日(木)	障害者週間啓発イベント(交流会・防災訓練)
12月 9日(水)	日本身体障害者団体連合会第２回定例理事会
12月18日(金)	福祉大会決議要望(県知事・関係部局)
12月19日(土)	第３回青壮年部交流会
12月21日(月)	第４回滋賀県身体障害者福祉大会実行委員会

躍進する技術……信頼される技術
電気設備工事
特定建設業　山中電工株式会社
〒520－0837　大津市中庄一丁目17－39
TEL (077) 522－8038
FAX (077) 522－8099

障害者福祉センターコーナー

事業案内

スポーツ吹矢大会を開催します！

日頃の成果をスポーツ吹矢大会で発揮しませんか？
ぜひ、ご参加ください！！

日　　時：平成28年3月21日（月・祝）13:00 ～ 16:00
場　　所：当福祉センター　アリーナ
対 象 者：身体障害者、精神障害者、障害のない人でスポーツ吹矢をしたことのある人
定　　員：先着40人（障害のない人は最大15人まで）
費　　用：無料
受付時間：平成28年1月26日（火）～ 3月6日（日）

昨年度の参加者の声

・和やかな雰囲気がよかった。
・最善を尽くせて良かった。楽しかったです。

現在開催している自由参加の教室を紹介します（平成28年1月1日現在）

教室名	対象者	開催日	曜日	開催時間
水中運動 知的	36 歳以上の知的障害者	1/10・3/13	日	12:00 ～ 12:50
アクアエクササイズ	36 歳以上の身体・精神障害者・障害のない人	2/13	土	12:00 ～ 12:50
アクアビクス	障害のある人・障害のない人	1/23・2/27・3/26	土	10:45 ～ 11:45
卓球 初級	障害のある人	1/19・2/16・3/15	火	10:00 ～ 12:00
卓球ラリータイム	障害のある人・障害のない人	1/19・2/16・3/15	火	10:00 ～ 12:00
グラウンドゴルフ定例会	身体・精神障害者・障害のない人	1/8・3/11	金	13:30 ～ 15:30
スポーツ吹矢定例会	身体・精神障害者・障害のない人	1/22・2/26	金	13:30 ～ 15:30
将棋と囲碁のつどい	障害のある人・障害のない人	1/24・3/27	日	10:00 ～ 16:30

受講料は無料。ただし、障害のない人は別途施設使用料が必要。（アクアエクササイズ、アクアビクス、卓球ラリータイム）

タイムトライアル

飛込み練習やタイム測定を行っています。日頃の練習の成果を確認してみませんか。多くの方の参加をお待ちしております。

日　　時：1月24日（日）
2月21日（日）
3月13日（日）
16:00 ～ 17:30
場　　所：当福祉センター プール
対 象 者：障害のある人、障害のない人
定　　員：20人程度
費　　用：障害のある人：無　料
障害のない人：参加料500円と別途施設使用料が必要
※当福祉センター登録ボランティアと介助者は参加料のみ必要
申込方法：事前の申し込みは不要
開催日の開催時間までにプールへお越しください。

指導員と泳ごう

指導員と一緒に泳ぎませんか？障害の有無や年齢を問わず皆で楽しく泳いでいます。ワンポイントアドバイスも実施しますので、泳力向上のチャンスです。ぜひご参加ください。

日　　時：毎週日曜日（平成28年3月まで）
1/24、2/21、3/13は除く。
15:30 ～ 16:30
対 象 者：開催日の実施種目で25m以上泳げる障害のある人、障害のない人
定　　員：なし
場　　所：当福祉センター プール
費　　用：無　料（ただし、障害のない人は別途施設使用料が必要）
申込方法：事前の申し込みは不要
開催日の開催時間までにプールへお越しください。

詳しい内容につきましては、当福祉センターまでお問い合わせください。

平成27年度　障害者スポーツ指導者研修会『アイデアひとつで誰もが楽しめるスポーツ』

障害者が身近な地域でスポーツ活動に参加できる環境づくりを進めるため、地域のスポーツ指導者が指導や支援の方法を学び地域での取り組みのきっかけとなることを目的とし開催します。

主　　催：滋賀県立障害者福祉センター、滋賀県障害者スポーツ協会
日　　時：平成28年1月31日(日)　13:00～16:15
内　　容：講義　「障害について」
　　実技　アイデアひとつで誰もが楽しめるスポーツ
場　　所：当福祉センター　アリーナ・会議室
対 象 者：県内各市町のスポーツ推進委員
　　県内の総合型地域スポーツクラブの指導員
定　　員：30人程度
費　　用：無料
申込方法：参加申込書に必要事項を記入の上、下記申込先に郵送かＦＡＸにてお申込みください。
　　〒520-0037
　　滋賀県大津市御陵町4－1　滋賀県立スポーツ会館内
　　TEL. 077-522-6000
　　FAX. 077-521-8118　　担当:池内
申込締切：平成28年1月22日(金)

『琵琶湖一周に挑戦！』・『日本縦断に挑戦！』授与式のご案内・挑戦者募集

授与式のご案内

『琵琶湖一周に挑戦!』『日本縦断に挑戦!』に挑戦し、達成された方々の表彰を行います。

日　　時：平成28年2月14日(日)　13:00～
場　　所：当福祉センター 会議室
対 象 者：①平成27年1月4日(日)～12月27日(日)の期間に琵琶湖一周・日本縦断を達成された方
　　②上記の期間に50回以上挑戦された方
　　※該当される方には別途通知いたします。
　　ご出席おまちしています。

挑戦者募集

子どもから大人まで多くの方々が達成を目標に挑戦されています！到達距離は、年度をまたいで通算されます。あなたも琵琶湖一周や日本縦断を目標にして挑戦してみませんか。

参加者の声

<琵琶湖一周に挑戦>

・励みになり、何回も来たくなる。
・昨年１周を達成したときの記念品は、今でも家に飾っている。
・次年度、２周目の達成をしたいので、月10回来ることを目標にしている。

<日本縦断に挑戦>

・昨年度年間50回以上挑戦し、記録証をもらった。その時に日本縦断を達成し、表彰されている方を見て、「次は、自分も！」とよりやる気になった。

平成28年度 年間日程調整会議

日　　時：平成28年2月21日(日)　10:00～
場　　所：当福祉センター 会議室
※原則として、会議前日までに日程が決定されている大規模な大会、行事等での有効な施設利用の調整を目的に開催します。

<会議への参加対象団体>

1. 障害者(児)または、その保護者等で組織する団体(組織)
2. 当福祉センター登録クラブおよび障害者で組織するスポーツ同好会
3. 障害者(児)施設、特別支援学校(特別支援学級を含む)
4. 障害者(児)に関わる行政、医療機関、団体等
5. その他、当福祉センター所長が特に必要と認めたもの
　※会議によって対象を制限するものもあります。

<調整の対象となる内容および優先順位>

1. 県が主催、共催または主管する障害者を対象とした大会等の事業
2. 全国規模でかつ県内の障害者団体が主催、共催または主管する大会等の事業
3. 近畿規模でかつ県内の障害者団体が主催、共催または主管する大会等の事業
4. 県内の各障害者団体が主催、共催する年１回程度の大規模事業で、多数の参加が見込まれるもの(アリーナや会議室を全面必要とする大会、研修会等)
5. 県が主催、共催または主管する健常者も対象として開催する障害者(児)に関係する研修会等
6. その他、当福祉センター所長が特に必要と認めるもの
　※上記に該当しない場合には、利用申請はできないものとします。

事業報告

グラウンドゴルフ大会を開催しました！

10月3日(土)に精神医療センターのグラウンドでグラウンドゴルフ大会を開催しました。秋晴れの空のもと、障害のある人、ない人あわせて39人の参加があり、熱戦が繰り広げられました。屋外での開催ということで芝と土で2パターンのコースを設定しチャレンジしていただきました。コースごとに難しさがあり、苦戦される方や好スコアを出される方など、様々でした。特に、優勝と準優勝には大きな差がないなど接戦となりました。

参加者の声

- 楽しくプレーができてよかった。
- ボランティアの人が優しく接してくれて、気持ちよく参加できた。感謝しています。
- また参加したい。

第32回水泳記録会

11月15日(日)に第32回水泳記録会を開催しました。今年は、第1部23人、第2部78人の参加がありました。

第1部の「25mに挑戦」では、水泳を始めたばかりの人が25m完泳を目指し頑張って泳ぐ姿や、重度障害の方が一生懸命泳ぐ姿などに、自然と大きな声援や拍手が沸き起こりました。また、「水中レクリエーション」では、滑り台を滑り、大小の浮島の上を渡る特設コースを設け、障害区分を越えて楽しんでいただきました。

第2部では、各競技種目のタイムを測定する記録会を行いました。日頃の練習の成果を発揮し自己新記録で喜ぶ姿や、リレー種目ではチームに関係なく応援する姿が見られ、会場が一体となり大いに盛り上がりました。

また、今回は「しがスポーツ大使」でリオデジャネイロパラリンピック日本代表に内定した木村敬一選手（栗東市出身）を招き、デモンストレーションや競技種目に出場していただきました。世界で活躍するトップアスリートの泳ぎは会場にいた全員の注目を集めました。

障害のあるなしに関わらず、水泳を楽しむ人が交流を図る場として、また水泳の楽しみが更に広がる場として、有意義な記録会となりました。

障害者週間啓発イベント　障害者スポーツ・レクリエーション体験イベント 作品展示

11月29日(日)に「障害者週間啓発イベント」として障害者スポーツ・レクリエーション体験イベント 作品展示を開催し、220人の参加がありました。

アリーナでは、車椅子バドミントン日本代表の江上陽子・久保育美両氏にデモンストレーションを行っていただき、俊敏な車椅子操作とバドミントンの技術に参加者は魅了されていました。また、フライングディスクでは、アキュラシーの他にストラックアウトの的を使ってゲーム感覚で楽しんでいただいたり、小アリーナで実施したスポーツ吹矢では、「礼」に始まり「礼」に終わるという一連の基本動作の中で、呼吸と姿勢を意識する競技の奥深さを体感していただくことができました。

イベントを通じて障害者スポーツ・レクリエーションの楽しさを発信・交流すると共に、障害の理解を深めるきっかけづくりとなりました。

障害者週間啓発イベント　交流会・防災訓練

12月3日(木)に「障害者週間啓発イベント」として交流会と防災訓練を開催し、87人の参加がありました。当初は、屋外で清掃活動をする予定でしたが、雨天のため交流会に内容を変更し、ふうせんバレーボールを当福祉センターアリーナで行いました。多くの参加者の歓声や笑い声がアリーナに響き、イベントを通して交流を深めていただくことができました。

また、その後の防災訓練には、湖南消防署員の方々にお越しいただき、防災講話を踏まえて、煙中体験、水消火器訓練、避難訓練を行い、日々の防災に対する意識を更に高めていただくことができました。

第15回　全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」

10月24日(土)から10月26日(月)まで第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」が和歌山県で開催されました。滋賀県から62人〔選手33人、役員29人(当福祉センターの指導員も含む)〕が参加し、過去最高となる45個のメダル(うち、大会新記録5、自己新記録16)を獲得することができました。

代表選手の中には当福祉センターの教室である「水泳選手育成」受講者の福井香澄さんも出場され大会新記録を出すなど大健闘されました。

今後も、当福祉センターとして障害者のスポーツの裾野を広げる取り組みや選手層を広げる取り組みを進めていきたいと思います。

センターでのユニバーサルデザインを紹介します

障害者用駐車場を14台分設置しています。内４台は、館内へ最も近い場所に位置し、屋根付きの駐車場となっており、雨の日でも濡れることなく館内まで入ることができます。

作品を寄贈していただきました

当福祉センターの多目的ホール壁面に見事な染色の伝統工芸品を展示しています。寄贈いただいたのは「木村隆男」さんで作品名『火点(かてん)』です。

木村さんは、京鹿の子絞・染色の伝統工芸士で平成26年秋の「瑞宝単光章」を受賞されており、またセンター施設も定期的にご利用いただいております。センターにお越しの際は、是非間近で作品をご覧ください。

皆様のご利用を職員一同心よりお待ちしております。

クイズコーナー

次の①～⑥のヒントを参考にして□の中の故事・ことわざをうめてください。最後に(A)～(F)の文字を順番に並べたものが答えとなります。

□□ ヒント □□

①弁慶ほどの豪傑でも痛がって泣く急所という意味。向こう脛のこと。
②災難や危機が次々と襲ってくること。
③一つの事をすることによって、同時に二つの利益を得ること。
④幸運は求めても得られるものではない。あせって動き回ったりせず、気長に待っていればやってくるという意味。
⑤棚の下でのんびり寝ていたらたまたま牡丹餅が落ちてくるということから、思いがけない幸運が舞い込んでくることのたとえ。
⑥書物の中で最も優れた詩文。他のものより優れた作品。

ご応募頂いた個人情報については、個人情報保護関係法令を遵守し、クイズコーナーの事務にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

①	べ			い		な	き		(A)				
②	い	ち			さ			ま		い	(B)		ん
③	い		き	(C)	り				く				
④	か		(D)	は		て	ま						
⑤	た			(E)	ぼ			ち					
⑥	あ		か	(F)									

＊前回のクイズの当選者（応募総数：28 通）
・越川登代子 様（彦根市）
・河野美保子 様（湖南市）
・上山江利子 様（高島市）

前号（第110号、10月1日発行）のクイズの当選者のお名前に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。
（誤）「中沢敏夫様」 → （正）「中沢敏男様」

＊前回のクイズの答え → もみじがり
①弘法にも筆の誤り（こうぼうに**も**ふでのあやまり）
②寝耳に水（ねみみに**み**ず）
③順風満帆（**じ**ゅんぷうまんぱん）
④思い立ったが吉日（おもいたった**が**きちじつ）
⑤一刀両断（いっとう**り**ょうだん）

《応募方法》

ハガキに住所、氏名、電話番号、クイズの答え、広報誌に対するご感想等をご記入の上、下記までご応募ください。正解者の中から、3人の方に、記念品をお送りします。なお、応募の締め切りは、2月末日までの消印のあるものを有効とさせていただきます。

〒525-0072　草津市笠山八丁目５番 130 号
（公財）滋賀県身体障害者福祉協会　県身協クイズの係　まで

読者からの声！

●第25回記念夏まつりの記事がとても楽しそうで、次回行ってみようと思いました。様々な教育、講座情報が大変参考になりました。（彦根市･女性）
●次回はぜひ家族で夏まつり見に行きたいと思います。楽しみにしております。（近江八幡市･女性）
●滋賀県は福祉に手厚い。私は大阪から引っ越してきた者だが、規模は小さいが福祉に関連する施設があり、行事を開催していて、とても安心できる。（高島市･男性）
●広報から事業内容が良くわかり、また、いろいろな催し物をされていて誌面の上で楽しませていただきました。（東近江市･女性）
●いつもわかり易く、見易く編集され感謝！（大津市･男性）

原稿募集

次号（第112号、3月10日発行）に伴う**原稿締切日は2月7日（日）**とさせていただきますので、よろしくお願いします。

毎週金曜日はノーマイカーデーです！
ワンコインエコパス(※)を使って週に一度はエコ通勤を！
※毎週金曜日に1乗車100円で「パス：県内全域／鉄道：近江鉄道全域」が利用できる証明書です。詳しくは滋賀県交通政策課ホームページをご覧ください。
びわこ京阪奈線（仮称）鉄道建設期成同盟会・琵琶湖横断エコ交通推進協議会

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。
「滋賀県身協」（第111号）ができあがりましたのでお届けします。
秋から12月にかけて、協会では滋賀県身体障害者福祉大会、要望活動、障害者週間啓発・推進事業、また、センターでもグラウンドゴルフ大会、水泳記録会、障害者週間啓発イベントと大きな行事が続きました。無事終了できましたのも、地域や団体の皆様のご協力があってこそと心より感謝申し上げます。
昨年は、北陸新幹線の開業やラグビーワールドカップ2015において、日本が南アフリカを制する歴史的快挙を達成する等明るい話題が多い年でした。今年も明るい話題の多い年であってほしいと切に願っています。
さて、国においては、障害者差別解消法の本年４月の施行に向け、必要な体制整備等が進められており、本県においては、昨年４月から「滋賀県障害者プラン」のもと共生社会の実現に向けて、取り組みが進められています。障害の有無によって分け隔てられることなく、共に生きる社会の実現に向けて、私たちの声をこれからも届けていきましょう。
最後になりましたが、今年も幸多い年でありますようお祈り申し上げますとともに、寒さ厳しき折、お体にはどうぞお気をつけてお過ごしください。

（編集子）

編集発行　公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会　会長　中村　裕次　　滋賀県立障害者福祉センター　所長　山脇　治
〒525-0072　草津市笠山八丁目5番130号　電話：077-565-4832　FAX：077-564-7641
E-mail：info@kenshinkyo-shiga.com　http://www.kenshinkyo-shiga.com

印刷：社会福祉法人 いしづみ会　指定障害者サービス事業所 いしづみ